

防災教育の取組 まとめ

当校における防災教育の充実に向けた取組を紹介します。

命を守る訓練の実施

4月と10月の2回、命を守る訓練（避難訓練）を実施しました。「おはしもち（おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない）」を守って安全に避難することを学びました。繰り返しの訓練で、落ち着いて避難できる力を今後も身に付けられるようにしていきます。

また、10月の訓練では、A棟とB棟の西にある避難用滑り台を使って、避難する方法の見学や体験を行いました。状況によって使用することが想定されるので、今後も使用できる児童・生徒を対象に練習をしていきたいと考えています。



シェイクアウト訓練の実施

緊急地震速報が流れたら、すぐに安全な場所で身を守る姿勢になる訓練を、毎月1日を原則として実施しています。授業中、休み時間、給食等さまざまな時間や場所にいることを想定して実施しました。速報のチャイムが鳴り始めたと同時に身を守る行動に移る児童生徒が増えてきました。来年度も継続して取り組みます。



防災備蓄の準備

3日分の食料と水などを、各家庭で準備していただき、バッグに入れたものを各教室で保管しています。

非常変災時の引き渡し訓練の実施

非常変災時に、確実かつ安全に下校できるように、「引き渡し訓練」を実施しています。今年度は、4月29日の授業参観及びPTA総会が行われた日に実施しました。

「高校生防災リーダー養成事業」で優秀賞を受賞

高等部2年生の「羽島の土地に適した減災力を身に付けよう」の取組が、県の防災リーダー養成事業において、優秀賞を受賞しました。総合的な学習の時間に取り組んできたことが評価されました。

来年度に向けて～防災教育ロードマップによる取組～

小学部・中学部・高等部の12年間を見通した「防災教育ロードマップ」を作成して、防災教育のより一層の充実を図り、防災意識の向上、非常時の行動力を身に付けられるようにしていきます。